

2006年5月 松坂屋月次営業報告

1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)	入店客数(%)	営業日数増減
名古屋店	(3.7) 7.8	48.1	0.9	±0日
岡崎店	5.8	2.0	6.5	1日
名古屋駅店	3.8	4.5	1.4	±0日
豊田店	1.0	3.5	3.1	±0日
高槻店	7.9	5.4	5.1	±0日
上野店	9.1	20.2	8.0	±0日
銀座店	0.6	5.8	3.2	±0日
静岡店	0.3	10.4	1.7	±0日
合計	(1.0) 6.4	100.0	2.3	

()は前年万博会場内売店売上を除く対前年増減率

2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	2.2	7.8
婦人服・洋品	0.9	28.1
子供服・洋品	0.7	3.4
その他衣料品	5.5	4.1
衣料品計	0.8	43.4
身の回り品	3.5	10.5
化粧品	3.0	3.3
美術・宝飾・貴金属	7.6	7.7
その他雑貨	12.9	5.6
雑貨計	1.1	16.7
家具	4.3	3.2
家電	28.0	0.7
その他家庭用品	1.5	5.4
家庭用品計	3.6	9.3
生鮮食品	6.1	3.0
菓子	0.6	5.3
惣菜	3.4	4.9
その他食料品	0.7	3.2
食料品計	2.0	16.4
食堂・喫茶	6.1	2.4
サ－ビス	21.4	0.9
その他	94.6	0.3
合計	6.4	100.0

3. 商況概況

< 主な店舗別売上高概況 >

- ・全店売上高は対前年 6.4%。
前年の万博会場内売店売上を除く対前年では
1.0%と減となった。
降雨日が前年と比較し多く、入店客数も 2.3%と伸び悩んだ。
- ・前年実施を上回った店舗は、豊田店と静岡店の2店舗。
豊田店、静岡店とも4ヶ月連続前年プラス。
- ・名古屋店は前年万博会場内売店売上を除くベースでは+3.7%、
5ヶ月連続前年プラス。美術・宝飾・貴金属は高額品の売れ行きが
良く、前年に大きくプラスした。北館改装の効果が続く家庭用品、
食料品が売上を牽引した。
- ・上野店は、改装工事のため売場面積の減もあり、売上、
入店客数とも前年を下回った。
また、降雨日が多かったことも入店客数が伸び悩んだ原因となった。

< 主な商品別売上高概況 >

- ・美術・宝飾・貴金属は高額品の動きが良く前年プラス。
- ・名古屋店のメンズコーナーの改装およびクールビズ効果により
紳士服・洋品が売上を伸ばした。
- ・生鮮食品が好調な食料品も堅調であった。

(注) 1、2表とも、構成比の合計は計算処理上必ずしも100%にはなりません。